

国際看護研究会 NEWSLETTER No. 40

Japanese Society for International Nursing

2006. 1. 27 発行

新年、明けましておめでとうございます。昨年は皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本号の内容は以下のとおりです。

I. 運営委員会報告	p. 1
II. 第 39 回国際看護研究会報告	p. 1
III. 第 40 回国際看護研究会のお知らせ	p. 1
IV. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）	p. 4

※本文に記載されている振込先やメールアドレスについては、現在は使われておりませんのでご注意ください。

I. 運営委員会報告

第 44 回国際看護研究会運営委員会は 2005 年 12 月 17 日（日）に JICA 広尾青年海外協力隊訓練所で開催された。十周年記念誌作成の進捗状況について、6 名の編集委員で 2006 年 3 月に 500 部程度の発行を目標に作業進行中であると報告があった。他組織から本研究会にお知らせの掲載を依頼された場合の取り扱い、会員拡大および会員への連絡機能強化について協議した。いずれもホームページ充実が重要な手段として位置付けられた。また、スタディツアーについては 2007 年 3 月の開催予定とし、次回運営委員会で具体的計画を検討することにした。その他今後の講演会および第 9 回学術集会準備状況について報告があった。

II. 第 39 回国際看護研究会報告

第 39 回国際看護研究会は、「東ティモールにおける保健教育推進活動～ヘルスコーディネーターの経験から看護の国際協力に必要な能力を考える～」をテーマに権平美砂子氏（元シェア東ティモール、ヘルスコーディネーター）にご講演いただきました。

【講演】

東ティモールにおける保健教育推進活動
～ヘルスコーディネーターの経験から看護の国際協力に必要な能力を考える～

権平 美砂子

元 シェア東ティモールヘルスコーディネーター

東ティモールヘルスコーディネーターに至るまでの道のり

- 大学卒業（看護学部） 看護師・保健師免許取得

海外での活動に憧れ、協力隊の説明会に参加したり、コツコツと英語を勉強したりする。

また、精神看護に興味を持ち、卒業研究は精神看護の分野で取る。

●病院の外科病棟ナース（4年）

一般外科病棟に2年、心臓血管外科病棟に2年勤務する。精神科勤務を希望するが、希望が通らず、外科病棟勤務となる。基本的な解剖・生理は、ここで身に付けることができたと思う。

●青年海外協力隊スリランカ派遣（1年半）

スリランカの紅茶のプランテーションに配属され、地域保健活動を行う。

主な活動は、託児所を巡回しての、毎月の体重測定時の指導、栄養指導など。派遣前にシンハラ語を学んだが、派遣先がタミル語の地域で、言葉の壁が非常に厚かった。

初めての経験であり、また、夢を実現させて張り切って海外に協力隊に参加したのに、自分では納得いく活動ができず落ち込んだ。

●林間学校住み込みナース（6ヶ月）

海外での仕事を探す間、林間学校で住み込み看護婦として勤務する。主に小学校高学年児童の怪我、病気の時のケアを行う。小学校教師と話をすることが多く、また教師と児童を観察する機会に恵まれ、教育について、自分なりにじっくりと考えた。長い空き時間（待機時間）を利用して、英語の勉強をすることができた。

●シェア東ティモール（2年）

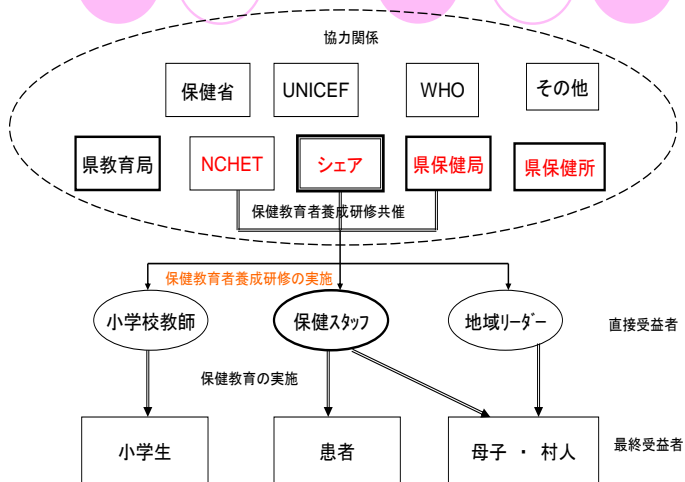
保健教育促進プロジェクトに、ヘルスコーディネーターとして2年間従事する。主な活動は以下の通り。

1. 保健教育者養成研修（TOT）開催。
2. 保健教育教材の開発。
3. パイロット村での保健教育。
4. シェア内でのトレーニング。

また、ここでのヘルスコーディネーターとしての私の活動は、以下の通り。

1. 保健教育のための教材作成
作成過程の指示、指導
内容（説明文、挿絵等全て）の吟味
コンピューターを使った編集作業
2. TOT開催に関わること
プログラム作成
講師の選定と交渉
ローカルスタッフ指導

シェアの保健教育促進プロジェクト フレームワーク



完成した保健教育用教材

- 講義用パワーポイントと配布資料作成
- 保健省、地方保健局との交渉
- ファシリテーション、進行指導
- 終了後の報告書作成とその指導
- 3. 様々な保健教育手法開発
 - 劇、ゲーム、歌、カレンダー作りなど、講義型ではない手法の開発とその指導
- 4. 活動全般に関して、保健省、地方保健局、ユニセフやWHO、他のNGOなどの関連機関と交渉、情報交換。
- 5. 活動全般に関する報告書作成とその指導



寄生虫の劇

途上国での活動に当たって、必要と思われた能力

コミュニケーション

- 言葉（英語・現地語）
- 関係者を見つける
- 話をする
- プレゼンテーション
- 分かりやすく伝える
- 教える

コーディネーション

- プロジェクト内でのコーディネーション
- 他の関係機関とのコーディネーション
- 政治的センス

教育

- 伝える（言葉で、絵で、身体で）
- 教える
- ファシリテーション
- 参加型ワークショップ

マネジメント

- Plan-Do-See-Plan-・・・
- 人のマネジメント（人事含む）
- プロジェクトのマネジメント

コンピューター

- インターネット
- メール
- エクセル
- パワーポイント
- 画像加工
- ページメーカー・・・

海外での活動の現場では、実に様々な能力が要求される。ここに挙げたのは、私の短い経験の中で感じたことに過ぎない。また、看護職としての専門知識は、前提の上である。

これら、必要とされる能力は、出発前に身につけようと思っても、全て学習して行くことは到底無理であろう。現地に行って初めて、必要と分かることもある。しかし、看護や保健の専門家として

赴任するからには、「できません・わかりません」で終わらせるわけにも行かない。では、どうするか。

これまで私たちは、長い間教育を受けてきた。その中に数え切れないくらいのヒントが隠され

ていると思う。私の場合、自分が小学生や大学生の時に受けた授業で使われていた手法が、とても参考になった。参加型のワークショップ形式のものが多かった。また、日々の業務の中にも、学んできたものはたくさんあった。看護の専門教育で学んだ看護計画の立て方とその書き表し方（看護問題、期待される結果、看護活動などを書くもの）は、プロジェクトのマネジメントにそのまま応用できるし、コミュニケーションも、毎日の業務の一部だった。コーディネーションは、保健師や訪問看護の中では日常業務であろう。林間学校のアルバイトで見聞きし考えた教育も、実際の活動にとっても参考になった。コンピューターは、日本で看護婦をしていた時、遊び用のおもちゃだった。が、それが大いに役に立った。

学校に通わなくても、改めて研修を受けなくても、私たちはこれまでの教育や業務の中で、様々なことを体験している。それを「学び」や「能力」にするかどうかは、各々の触覚の鋭さにかかっている。

だからといって、研修は必要ない、というわけではもちろんない。海外に出て他分野の人や外国の人たちと共に活動するためには、その業界のやり方があるし、経験だけでは補えない知識や手法、と言うものもある。こういうものを学ぶチャンスがあるときには、積極的にそのチャンスを生かすべきだと思う。私もこれまでいろいろな研修を受けるチャンスを頂いたが、どれもとても有意義なものだった。（残念ながら、そのほとんどは、東ティモールから戻ってから受けたものだったが・・・）本を読むなど、自分で学ぶことも必要だ。

こう書いてきた私自身、残念ながら活動に必要な能力を全て身に着けているわけではなく、周りの人たちに助けられながらやってきた。しかし、それに甘えず、触覚を磨き、常に学ぶ姿勢を持っていたと思う。

Ⅲ. 第 40 回国際看護研究会のお知らせ

第 40 回国際看護研究会は、下記の通り開催いたします。

今回の講演会は、いま話題の 21 世紀における国際社会の共通課題である「ミレニアム開発目標（MDGs）」がテーマです。最近の JICA 事業の傾向を踏まえ、私たち看護職の活動可能性も視野に入れてご講演いただきます。講師の石井氏は、国内外での JICA マンとしてのご経験が豊富な国際協力専門家であり、また国際看護研究会の活動にも深いご理解をいただいております。お誘いあわせの上、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2006 年 3 月 11 日（土） 13：00～15：00

会 場：JICA 広尾青年海外協力隊訓練所（東京都渋谷区広尾 4-2-24）

テ ー マ：ミレニアム開発目標と保健医療協力～看護職の活動可能性を視野に入れて～

講 師：石井羊次郎 氏

独立行政法人国際協力機構（JICA）人間開発部第三グループ（保健 1）グループ長

IV. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）

1. 本研究会は会員の皆様からお振込頂く年会費（2千円）により運営されています。2005年度会費をまだ納めていない方はお振込をお願い致します。

郵便振込先：00150-6-121478 国際看護研究会

2. 転居された方は研究会事務局に新住所をご連絡下さい。
 3. NEWSLETTER の「海外情報」に掲載する記事を募集しております。会員の皆様の活動報告、活動国の様子、医療事情、あるいは旅行記など海外に関する情報をお待ちしております。事務局までお送り下さい。
 4. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動の更なる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど、本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。
 5. 第8回学術集会抄録の残部があります。ご希望の方はその旨明記の上、抄録代として500円分の切手（80円までの小額でお願いします）と返送先を書いて210円分の切手を貼ったA4サイズ用の返信用封筒を事務局までお送り下さい。
-

※ニュースレターの記事に関して無断転載を禁じます。

皆様のご理解をお願いいたします。

第 40 回国際看護研究会のお知らせ

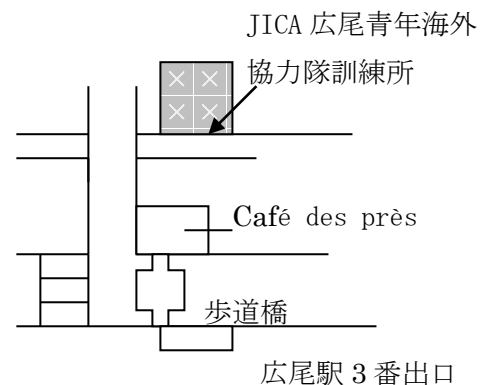
第 40 回国際看護研究会は、「ミレニアム開発目標と保健医療協力～看護職の活動可能性を視野に入れて～」をテーマに独立行政法人国際協力機構（JICA）人間開発部第三グループ（保健 1）グループ長の石井羊次郎氏にご講演をいただきます。

今回の講演会は、いま話題の 21 世紀における国際社会の共通課題である「ミレニアム開発目標（MDGs）」がテーマです。最近の JICA 事業の傾向を踏まえ、私たち看護職の活動可能性も視野に入れてご講演いただきます。講師の石井氏は、国内外での JICA マンとしてのご経験が豊富な国際協力専門家であり、また国際看護研究会の活動にも深いご理解をいただいております。

皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

記

日 時：2006 年 3 月 11 日（土） 13:00～15:00
 会 場：JICA 広尾青年海外協力隊訓練所
 〒150 - 0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24
 TEL：03 - 3400 - 7717
 （営団地下鉄日比谷線広尾駅下車、
 六本木寄り出口 3 番より徒歩 3 分）



テ マ：「ミレニアム開発目標と保健医療協力～看護職の活動可能性を視野に入れて～」

講 師：石井 羊次郎 氏

独立行政法人国際協力機構（JICA）人間開発部第三グループ（保健 1）グループ長

参 加 費：会 員：無料
 非会員：500 円

問 合 せ 先：国際看護研究会事務局
 〒125-0062 東京都葛飾区青戸 3-19-9-308
 Fax：03-3602-4414
 E-Mail：kokusaikango@iris.ocn.ne.jp
 URL：http://www15.ocn.ne.jp/~jsin/

※お問い合わせはなるべく FAX または E-mail をお願いします。